

登録コード	E8004400	開講年度	2026				
授業科目	国語科指導法特別演習 I					担当教員	大井 和彦
英文授業名	Advanced Seminar in Japanese Teaching I					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	
講義室	教育M410			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	理論知と実践知との往還を目指しながら、国語科教育の省察的実践者としての資質／能力を自ら養い続ける姿勢をつくる	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	受講者自身の考える課題・問いと向き合いながら、書籍・論文等に触れ、議論を交わし、成果をまとめる。						
(5)授業計画	第1回 オリエンテーションー実践者としての研究 第2回 小論文・レポート・論文の違いを考える 第3回 テーマを探す 第4回 問いを立てる 第5回 先行研究を知る 第6回 調査するー質的調査・量的調査 第7回 実際の論文を読む1ー研究者の論文 第8回 実際の論文を読む2ー実践者の論文 第9回 分析する：事実関係の精査 第10回 考察する：反証可能性の検討 第11回 表現する：使うことばを選ぶ 第12回 論文の作法を知る 第13回 資料を作る 第14回 発表する　まとめ　授業アンケート						
(6)成績評価の方法	資料作成（30点）　講義時間中の議論・質疑ならびに省察（40点）　最終レポート（30点） 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上　秀, 89-80%　優, 79-70%　良, 69-60%　可, 59%以下　不可。						
(7)成績評価の基準	秀　授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優　授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良　授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題等に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可　授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可　授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：該当文献等を検討し、発表資料を作成する 事後学習：講義時間での議論を踏まえ、更なる調査を行い、事後レポートを作成する ※この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	国語科教育学ならびに国語科教員としてのあり方に関する関心・意欲、自覚と省察の姿勢が求められる。 また、受講生による進行も求める。 担当教員の業務都合等により、一部の回で時間を他の時間に移すことがあります。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談は授業時等で対応する。また、メールでの相談にも応じる。 研究室：中校舎M406 アドレス：kazuhiko_oi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	その都度事前に資料複写を共有（配付）する。						
【参考文献】	適宜関係するものを紹介する						